

臺灣日日新報 音声文化データベース



購入型 コンテンツ料 (FTE は問いません) 同時アクセス数:無制限 価格はお問い合わせください
 年間購読型 (FTE は問いません) 同時アクセス数:無制限 価格はお問い合わせください

日本統治期の台湾の音楽生活は、西洋音楽や日本音楽、そしてレコードやラジオなどの近代的な音響技術の導入によって劇的な変化を遂げました。しかし、これまで日本統治期の台湾音楽史の研究は、口述資料に頼る傾向が強く、文字資料が十分に活用されていたとは言えません。音や聴覚の視点から歴史を探求することは近年国際的に重要な潮流となっています。本データベースは、日本統治期台湾の文化に「音」からせまるため、国立台湾大学音楽学研究所、国立台湾大学図書館、漢珍數位圖書による共同プロジェクトによりリリースされました。

共同プロジェクトに『臺灣日日新報』が選定されたのは、『臺灣日日新報』が日本統治期の台湾において最長の発行期間と最大の発行量を誇った新聞であり、また日本統治期台湾の日常音楽生活と音声文化に関わる資料を豊富に含むことによります。本データベースは、『臺灣日日新報』に収録されている音楽関連の記事を収録し、その総数は約 357,200 件にのぼります。パフォーマンス・アーツ（ダンス、演劇、芝居など）、マスメディア（レコード、ラジオ、映画など）、伝統行事（儀礼、寺社祭礼、パレードなど）などが含まれ、非常に詳細なキーワード検索（キーワードの総数 2,650 万以上）を備えています。



日本語インターフェース

※ 本データベースには、音声そのものは収録されていません。

次ページに続きます→

購入型について

- * 導入時より 10 年間は年間アクセスフィーのご負担なく、Transmission 社のサーバーにアクセスいただき、オンライン版をご利用いただけます。
- * 本データベースは、アップグレード版がリリースされる可能性があります。アップグレード版がリリースされる場合、年間アクセスフィーをお支払いいただくことで、最新システムによるオンライン版にアクセスいただけます。
- * 導入後 11 年目以降、最新システムによるオンライン版のご利用を希望なさらない場合、バックアップ HDD をご提供します。従来型のオンライン版にアクセスし続けることはできません。

- 消費税に関しましては税制の改正に則った内容で対応させていただきます。掲載製品はリバースチャージ対象製品です。
- 原価の改定、為替相場の変動などの理由による価格の変更や掲載タイトルの変更につきましては、予めご了承の程お願い申し上げます。
- お見積もりは、別途ご用命ください。FTE は問いません。

漢珍數位圖書(Transmission Books & Microinfo Co., Ltd.) / 日本総代理店:丸善雄松堂



データベース概要

- **収録期間** 1898年（『台湾日日新報』創刊） — 1944年3月31日（『台湾日日新報』が『台湾新報』に統合されるまで）
- **内容** 音楽関連の音に言及する全ての記事。パフォーミング・アーツ（ダンス、演劇、芝居など）、マスメディア（レコード、ラジオ、映画など）、伝統行事（儀礼、寺社祭礼、パレードなど）など。
- **地域** 主要範囲：台湾 日本を含む東アジアや東南アジア、欧米などに関わる内容も含んでいます。
- **データ数** 総計 約35万7千件（明治期 約3万件／大正期 約6万7千件／昭和期 約26万件）
- **キーワード数** 総数 2,650万以上

画面表示例

詳細検索画面→

[全記事閲覧](#) | [ジャンル](#) | [簡易検索](#) | [詳細検索](#) | [検索履歴](#)

全項目検索 ▾
 全項目検索 ▾

+ 列を増やす
- 列を減らす

キーワード ▾

全選択
 人名/団体名
 場所
 レコード産業
 ラジオ放送

リセット
 タイトル
 楽器
 楽譜

公演形態
 出来事
 時間
 その他

年月日の範囲 全日付

(明治31) 1898 ▾ -- ▾ から (昭和19) 1944 ▾ 三月 ▾

表示順 掲載日昇順 ▾ 20 ▾ 件ずつ表示

🔍 検索
✖ クリア

検索結果表示例↓

検索結果：全28件 / 2ページ 表示方法：簡易表示 詳細表示

検索条件：二胡

0件選択した資料 掲載日昇順 ▾ 表示順 20 ▾ 件ずつ表示 | ページ 1 / 8 へジャンプ GO

全選択 / 解除 全解除 保存 印刷 メール

最初 前へ 次へ 最後

	見出し	掲載日	発行形態	面数	原文表示
<input type="checkbox"/>	園/盆の月	(明治39)1906-09-02	日刊	05	
<input type="checkbox"/>	叢談/鋼線琴與二胡	(大正14)1925-08-31	日刊	04	
<input type="checkbox"/>	中堰の慶成福雛(三)[附圖]	(昭和02)1927-12-22	夕刊	n02	
<input type="checkbox"/>	始政記念日放送局放送	(昭和04)1929-06-16	日刊	04	
<input type="checkbox"/>	本日の放送プログラム/午後八時四〇分	(昭和04)1929-06-17	日刊	05	
<input type="checkbox"/>	壺間娛樂時間/午後零時二十分より/台湾音楽	(昭和07)1932-07-06	日刊	04	
<input type="checkbox"/>	今日の番組/JFAK七月六日(水)/午前の部/〇・二 〇(臺北のみ)	(昭和07)1932-07-06	日刊	04	
<input type="checkbox"/>	臺灣音楽/午後七時三十五分	(昭和07)1932-08-28	日刊	04	
<input type="checkbox"/>	今日の番組/JFAK八月廿八日(日)/夜間の部/七・三五	(昭和07)1932-08-28	日刊	04	
<input type="checkbox"/>	園/鈴木商店/[二胡]	(昭和11)1936-02-21	日刊	12	
<input type="checkbox"/>	三局合同/臺灣音楽の夕	(昭和12)1937-04-20	日刊	04	
<input type="checkbox"/>	臺灣音楽八・三一臺北から	(昭和12)1937-06-28	日刊	04	
<input type="checkbox"/>	臺灣音楽八・三一臺北から	(昭和12)1937-07-05	日刊	04	
<input type="checkbox"/>	ラヂオ/夜/八・三一/台湾音楽/一、青霜劍	(昭和12)1937-07-11	日刊	04	
<input type="checkbox"/>	ラヂオ/夜/八・三一/台湾音楽/二、虞華山	(昭和12)1937-07-11	日刊	04	
<input type="checkbox"/>	ラヂオ/夜/八・三一/台湾音楽/二、台湾京曲	(昭和12)1937-07-26	日刊	04	
<input type="checkbox"/>	ラヂオ/夜/八・三一	(昭和12)1937-08-02	日刊	04	
<input type="checkbox"/>	園/雙曲(文展)/梶原緋佐子畫	(昭和12)1937-10-27	日刊	06	
<input type="checkbox"/>	南支音楽使節團一行/十三日の使船で基隆に入港	(昭和15)1940-05-10	夕刊	n02	
<input type="checkbox"/>	ラヂオ/夜/九・四一/二、粵曲合唱	(昭和15)1940-05-16	日刊	04	

最初 前へ 次へ 最後

全文検索の機能はありませんが、非常に詳細なキーワード検索を備えています。

日付からの閲覧も可能です↓



【関連資料】

日本統治期台湾最大の日刊紙を精緻な画像でデジタル化
索引により約 15 万頁、250 万件に上る記事が容易に検索可能



オンライン版

臺灣日日新報

(本体編+索引編)

明治 29 (1896) 年 6 月～昭和 19 (1944) 年 3 月

全 15,800 号以上 台北市：台湾日日新報社発行

『臺灣日日新報』は日本統治期台湾発行の日本語新聞で、明治 31 (1898) 年 5 月 6 日に『台湾新報』(明治 29 年創刊)と『台湾日報』(明治 30 年創刊)を併合する形で創刊、2 年後には経営難により総督府の機関誌となりました。新聞社保護のために総督府が「一市一報」政策を布いていたため、台湾での日本語紙には本紙のほか、台中の「台湾新聞」、台南の「台南新報」、花蓮港「東台湾新報」、高雄の「高雄新報」がありましたが、なかでも台北の「台湾日日新報」は最大の規模をほこり、大正 13 (1924) 年には発行量は 1 万 8 千部以上にのぼりました。また、付録として「総督府府報」「台北州報」「台北市報」も発行したために「御用新聞」とも称され、昭和 19 (1944) 年に廃刊するまでの間、台湾の政治・社会・言論・文学の全域にわたり強い影響力を持ち続けました。

オンライン版『臺灣日日新報』は、ゆまに書房刊行のマイクロフィルム版の全ページをデータベース化して提供するものです。「本体編」には全ページのデジタル画像および年代巻号目次が収録されています。

「索引編」には記事見出し・著者名・本文中のキーワード等の索引データを収録。これにより、日本植民地支配や台湾研究の基本資料を容易に閲覧・検索することが可能となりました。

価格などの詳細は、お問い合わせください。

無料トライアル 受付中

- トライアル期間は個人・機関とも、1ヶ月間です。
- 下記の項目を E-mail: e-support@maruzen.co.jp までご連絡ください。
お名前 (ふりがな/アルファベット表記もご記載ください)、ご所属、ご連絡先(E-mail)、
トライアル希望タイトル、IP アドレス(図書館からお申し込みの場合)、希望開始日
- お申し込みから設定まで 4-5 日かかる場合がございます。
- トライアルのお申し込みは、原則として大学・研究機関の専任教員・職員に限定させていただきます。
学生・大学院生の方は、図書館員・担当教員を通じてご依頼ください。
- 個人情報のお取り扱いについて：
ご記入いただいた個人情報は、お申し込みトライアルの設定、ならびに弊社よりの商品・催事のご案内に際し
てのみ使用いたします。弊社の個人情報保護方針につきましては、弊社ウェブサイトをご覧ください。

<https://yushodo.maruzen.co.jp/privacy.html>

今後の案内が不要の方は、トライアル申し込み時に、「商品の案内は不要」「催事の案内は不要」の旨をお知らせください。

資料 No. 12-2024-921